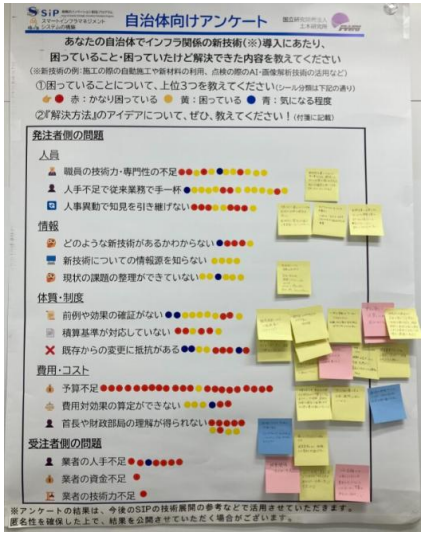
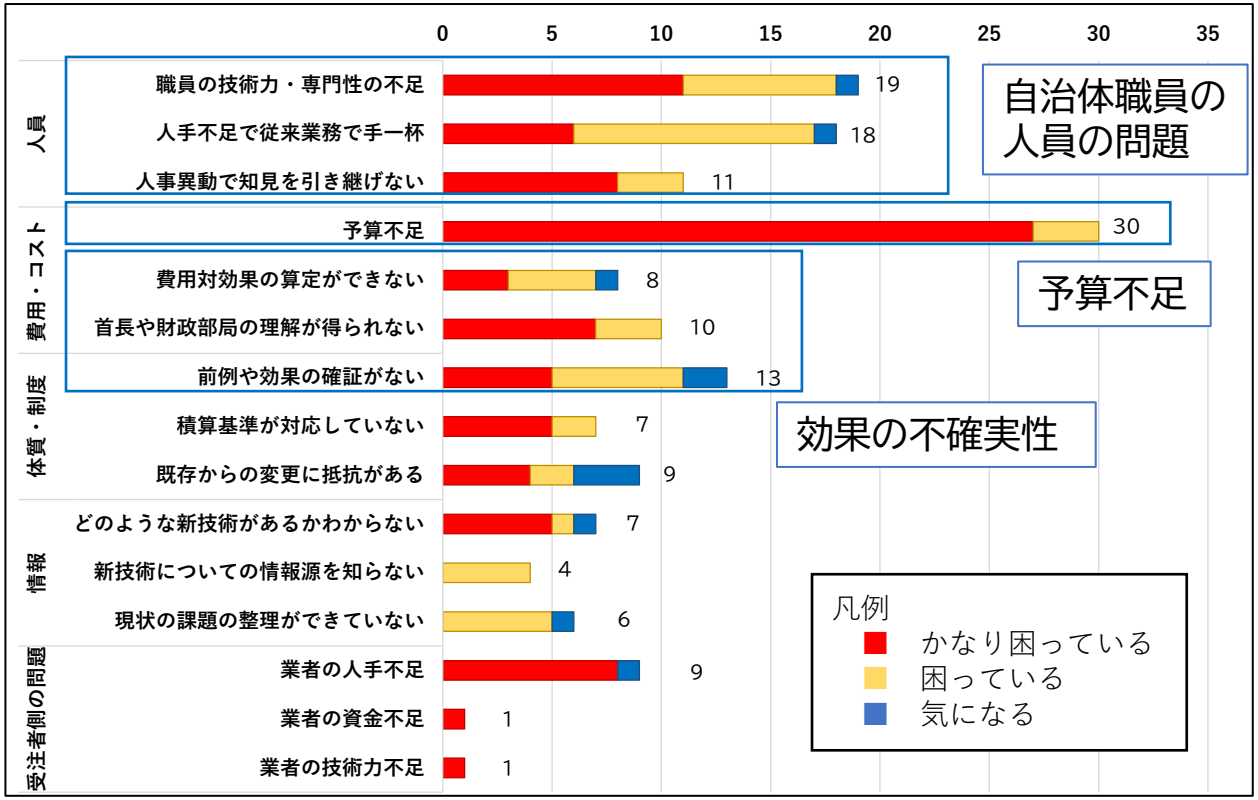
自治体における新技術導入の障壁についてのアンケート結果

新技術導入に際して自治体が特に困っている内容として、大きく分けて
①予算不足　②自治体の人員不足　③効果の確証がないという3点がみられた。
また、下記のような意見・状況が見られた。
〇予算不足のため、効果が不透明なものに予算配分できない
〇適用事例での費用削減の効果などのわかりやすい発信が重要ではないか。
〇地域レベルへの働きかけや国と協調した働きかけが有効ではないか



回答結果（一人最大3回答・困っている度合いで色分け）



対象
下記イベント（※）に参加した
　自治体職員・
　自治体と関わる民間の方
（※）・自治体・公共week（5月）
　　・自治体総合フェア（7月）
　　・シンポジウム（7月）

内容
①新技術導入で困っている
　内容についての選択回答
②具体的な障壁の内容や解決に向けたアイデアや取組について自由記述
（聞き取った内容の記載含む）

自由意見（一部抜粋・予算不足に関する意見）

予算不足や付随する問題

①	前例がないと、予算を取りに行けないので、積極的に技術を探しに行くこともない。 暗渠が崩落したので、簡単に劣化がわかるシステムがあったらいいよね、維持管理の予算を取らないとねという話は出ている。
★ ②	そもそも目の前の予算がない 新たなものを導入するにはそのための予算を取る必要があるが、前例がなく、組織の長や議会の理解を得るのが難しい
★ ③	予算不足の中、費用対効果が不明なものに予算をつぎ込みにくい、 その結果、前例や効果の確証が得られず、その後の導入も難しくなっている。
④	予算不足で導入しにくいため、前例や効果の確証を得にくい

**予算不足が大きな課題となっており、新技術の導入にあたっては
議会や決裁者の理解を得られる前例などが必要で、
効果が不透明なものにお金をかけられない現状**

自由意見（一部抜粋・新技術の導入に向けたアプローチについて）

新技術の情報・説明への活用について

①	新技術についての情報が多すぎる 自分の自治体の課題に合うかどうかわからず、一方で個々の企業に個別に問い合わせている時間や労力がない
②	新技術を導入してからの困りごととしては、期待したほどの効果が得られなかった
★ ③	人手がこれだけ減りますよ、予算がこれだけ減りますよ（ちょっと増えるかも）ということを簡単に示す図を作って示すと、「おっ」となって話を聞いてもらえる。

適用事例での費用削減や効率化などの効果や、適用条件をわかりやすく発信・提示することで自治体内での予算要求への活用や実際の利用に結び付けやすくなるのでは

導入する際の留意事項

★ ①	国の人の方から自治体にアプローチしてくださったことで、技術導入の検討が進むきっかけとなった。自治体からのアプローチはハードルが高いので、国が来てくれると大変ありがたい。
②	地域内での横並びで足並みを揃えざるを得ない。 （特殊な場合を除き、既存技術で承認を得て工事完了までを最短で行わざるを得ない環境にある）

単一自治体への働きかけのみでなく、地域レベルでの働きかけや、国と協調した働きかけが必要